

令和5年度 釧路市立武佐小学校

第2回コミュニティ・スクール協議会

《日時》 令和5年8月24日（木）11:00~12:30

《場所》 武佐小学校 図書室

【会次第】

進行＝式部

- | | | |
|--------|----------------|---------------|
| 1 開会の辞 | | <出口校長> 11:00 |
| 2 熟議 | ○学校評価中間 | <式部> 11:05 |
| | ・説明 | |
| | ・意見交流 | |
| | ○1学期の取組 | <谷川CO> 11:20 |
| | ・説明 | |
| | ・意見交流 | |
| | ○今後の活動について | <式部> 11:25 |
| | ・コミスク年間活動計画の確認 | |
| | ・意見交流 | |
| | <休憩> | 11:30 |
| 3 学校参観 | | <式部> 11:35 |
| 4 閉会の辞 | | <上田委員長> 12:05 |
| | <給食試食> | |

【武佐小学校コミュニティ・スクール協議会委員名簿】

任期：～令和7年3月31日

(敬称略)

番号	氏名	所属・役職	区分
1	上田 徳郎	<委員長> 地区連合町内会会長	地域の代表
2	谷川 新	<副委員長> CSコーディネーター (地域学校協働推進員)	地域の代表
3	本間 尚行	CSコーディネーター 第2武佐児童センター館長	地域の代表
4	細野 暁美	民生児童委員	地域の代表
5	難波 弘隆	武佐小PTA会長	PTAの代表
6	栗林 周次	武佐小PTA副会長	PTAの代表
7	瀧本 知美	武佐小PTA副会長	PTAの代表
8	出口 靖志	武佐小校長	教職員
9	式部 純弥	武佐小教頭	教職員
10	森近 正人	武佐小教諭	教職員
11	松浦 高久	武佐小教諭	教職員

◇ 釧路市教育委員会 学校教育部 教育支援課 教育支援担当 関 麻紀 主査

【コミュニティ・スクールのねらい】

～『地域とともにある学校づくり』を推進する～

子どもたちの豊かな育ちと学びを創造するために、学校と地域の人々（保護者、地域住民等）が「どのような子どもを育てるのか」「何を実現していくのか」という目標やビジョンを共有し、「目指す子ども像」の実現に向かって協議を重ね、役割を分担しながら、一体となって協働することが大切です。

コミュニティ・スクールは、学校と地域の人々が力を合わせて「地域とともにある学校づくり」を進めるために有効な組織です。

武佐小学校では、保護者や地域の方々から様々なご支援やご協力をいただいております。この関係を基盤として、学校と地域の方々との協力関係を一層発展させることで、児童にとってよりよい教育環境をつくっていくことが出来るとの認識にたって、平成31年度から、コミュニティ・スクールへの取り組みを推し進めていくこととしました。

【コミュニティ・スクール 4年目の取り組み】

地域代表の児童館館長、地域学校協働活動推進員が、地域コーディネーターとして活動し推進していく。協議会に先立ち、コーディネーター会議を随時開催して推進する。

＜本年度の構想＞

1、学校と地域の連携を一層深める

☆重点活動（学校の願い）の設定

☆地域と学校の連携を深めることで、地域の子どもの育ちを豊かにするとともに、地域の活性化も期待できることなどについて、その方向性を協議会と地域の各町内会の代表と共有する。

☆地域ネットワーク会議の開催

- ・各町内会の代表と協議会が、コミュニティ・スクール推進について意思疎通を図る（会議）
- ・学校の活動への参加案内や教育活動への協力依頼案内を各町内会へ随時配布する（推進員）
- ・学校と地域が相互に活動に参加し合う関係作りを目指す（会議）

☆年度の重点の設定

- ・学校の畑作りへの支援を依頼する。
- ・児童の読書環境作りへの支援を依頼する。
- ・地域と学校が協働して防災体制作りを目指す。

2、各種会議を計画する

	コーディネーター会議	協議会
第1回	4月19日（水）11:00～12:00 ・今年度教育活動のCSとの連携協力に向けて	5月11日（木）18:00～19:00 ・学校経営方針説明 ・CS年間活動計画説明
		7月5日（水） 地域連携ネットワーク会議
第2回	7月20日（木） ・熟議	8月24日（木）11:00～12:30 ・学校評価中間報告 ・学校教育活動視察 ・地域合同津波避難訓練に向けて準備
		10月14日（土） 地域合同津波避難訓練
第3回	10月26日（木） ・学校教育活動支援について	11月29日（水）10:00～11:30 ・学校教育活動報告 ・学校教育活動支援について
第4回	1月23日（火） ・次年度推進計画	2月22日（木）10:00～12:30 ・年間経営反省 ・次年度計画 ・学校教育活動視察

※社会福祉協議会との連携を検討する。（令和2年2月の第4回推進委員会に参加）

3、地域・保護者との連携で、サポートを期待する内容<教員から>赤字～実績あり

教科・領域	内容	こんなことができれば
安全・防災		<p>* 避難訓練（津波等）の際に、児童と地域の方が一緒に避難したり、講話を聞いたりする。</p> <p>* AED講習（5・6年生）の際に、地域の方にも案内を出して、一緒に講習を行う。10月6日（金） 6年生10:25～11:10 5年生11:15～12:00</p> <p>* 登校時の見守りと下校時の見守り。</p> <p>* 不審者情報を地域とも共有し、「ながら見守り」として意識して見てもらいたい。</p> <p>* 地域での社会見学や探検等の際の見守り。</p>
読書・図書室		<p>* 読み聞かせを継続していただきたい。</p> <p>* 本の紹介や図書室の環境整備など。</p> <p>* 本の受け入れ配架、廃棄作業、掲示等の作業。</p>
体育	<p>○体カテストサポート</p> <p>○スケート靴紐しばりサポート</p>	<p>* 手本を見せる。計測やカウントのサポートをする。</p> <p>* 体育の時間内でスケート滑走の時間をできるだけ多く確保するために、紐縛りのサポートをする。</p>
生活科・総合	<p>○武佐の森学習</p> <p>○農園・花壇</p>	<p>* 植物や昆虫など武佐の森の中にあるものについて詳しく説明出来る方がいらしたら協力してもらいたい。</p> <p>* 武佐の森ウォークラリーの地域の方への参加やクイズの出題者としての関わりも。</p> <p>* 畑の作り方、野菜・花の育て方を教えてもらう。</p>
生活科・総合・社会	<p>○地域人材のデータ共有</p> <p>○地域施設の連絡先データ共有</p> <p>○発表会の公開や招待</p> <p>○幼稚園や保育園、老人福祉施設などと交流</p>	<p>* 生活科～昔遊びを教えてください。</p> <p>* 生活科～地域のお店など訪問する際に、対応してくれるところとの打ち合わせ、開拓。</p> <p>* 総合～職場体験をさせてくれるところ、インタビューをさせてくれるところとの打ち合わせ、開拓。</p> <p>* 社会～地域の歴史を語ってくれる人、交番、郵便局などとの打ち合わせ、開拓。</p> <p>* 総合で調べた武佐の森関連のそれぞれのテーマ（自然・環境・歴史などなど）をポスターにまとめて、発表会をする。調べたことをたくさんの人に発表するという意欲付け。</p> <p>* 子ども達はその施設に赴いて、交流をする活動。小さな子と交流するには、お年寄りと交流するには、どうしたらよいか、考えることで、いろいろな立場の人と仲良くするにはと考える活動。</p>
家庭科	ミシン	* 安全面なども含め複数対応があると良い。
行事	鑑賞会 学習発表会	<p>* 音楽や演劇など、芸能鑑賞会。</p> <p>* 衣装作り、大道具や会場設営など。</p>
地域行事		<p>* 学校を会場にして地域の行事を行う</p> <p>・ ラジオ体操 ・ 盆踊り ・ 茶話会 ・ 敬老会</p> <p>・ 町内会会合</p>

今後の連携の方針

- 校内のニーズを推進員に伝え、内容に応じて地域や保護者へ支援を要請する流れを構築する。
- 人材を有効に活用し、取り組めることから取り組む。
- 図書関係での協力として、団体貸出、読み聞かせ、図書室環境整備等について要請する。
- 挨拶が素晴らしい・子どもの姿を共有して、今やっていることを発展させる。
- 防災に関する連携やネットワークを強化する取組ができればよい。